

8・6ヒロシマ平和へのつどい 2015

検証：被爆・敗戦70年

一日米戦争責任と安倍談話を問う

趣旨：

アジア太平洋各地での日本軍による様々な残虐行為、沖縄戦・東京を含む日本全都市への焼夷弾無差別空爆、広島・長崎への原爆殺戮攻撃、日本のアジア侵略戦争敗北から70年を迎えます。しかし2千万人をはるかに越えると推定されるアジアの犠牲者に対する日本の戦争責任、100万人を超える米軍無差別空爆の日本人死傷者に対する米国の戦争責任を、日米両国政府とも、いまだ認めようとはしません。その結果、両国とも「歴史の克服」には完全に失敗し、したがって、両国とも民主主義を実践する能力を欠落させています。

安倍晋三政権は、軍性奴隷制度や南京虐殺など日本軍による残虐行為＝歴史事実に関する記憶そのものを抹殺することで、侵略戦争の歴史を正当化しようとやっきになっています。「過去の邪悪な戦争の正当化」は、現在と未来に関する偽装欺瞞政策をも産み出しており、明らかな違憲行為である集団的自衛権行使容認やその他の戦争法制の整備を通して「将来の戦争を正当化」し、ナチス政権がやったと同じように、事実上、憲法をすでに「棚上げ状態」にしています。かくして、安倍政権は戦後民主主義体制の全面的解体の攻撃をますます強め、日本社会破壊への暴走を加速させています。

一方、米国も、原爆と大量の焼夷爆弾を使った無差別大量殺戮という由々しい「人道に対する罪」を、日本軍国主義ファシズムに対する「自由と民主主義の勝利」と正当化することで、「過去の克服」に失敗しました。「人道に対する罪」を犯した国家責任が問われることがなかった米国は、戦後も、朝鮮戦争、ベトナム戦争、アフガン戦争、イラク戦争などで繰り返し無差別爆撃を続け、世界各地で多くの市民を殺傷してきました。にもかかわらず、その犯罪性が追求されることがなく、したがってなんらの国家責任も問われないままこの70年を米国はおくり、いまま大量の核兵器を保有しています。

そのような「邪悪な戦争」をするたびに、いつも「正義の戦争」であると主張してきた無責任国家である米国、その米国の支配に完全に従属し、独立国でありながら米国の植民地のごとく自立性を失った政策を70年間も続け、国民への真の責任を回避してきた日本政府の無責任さ。

かくして、私たちは、戦後これまで、戦争加害と戦争被害の分離しがたい「絡み合い」あるいは「表裏一体性」という明確な認識の上にならなくて「過去の総括」を真剣にしてこなかったため、被爆・敗戦70年を迎える今も「過去の克服」ができていません。日米の両国の戦争責任を検証し、安倍政権に対して確固たる自律の姿勢で立ち向かうことで「過去の克服」を成し遂げ、近隣諸国民との和解を実現する未来構想を打ち出し、もって民主主義構築に寄与したいと考えます。この課題を被爆地ヒロシマから全国へ発信し、全国の市民が一堂に会し、討論を深めます。記録は出版し、明確な「歴史の記憶」として活用します。

【日程】

6月27日(土) 14:00～17:00

戦争法案阻止!アジア太平洋戦争敗戦70年ヒロシマ・アピール(反「安倍談話」)集会

8月 4日(火) スタート集会、他 8月5日(水) 午前フィールドワーク、メイン集会、他(裏面参照)

8月 6日(木) 7:00～「市民による平和宣言2015」「8.6新聞意見広告/第九条の会ヒロシマ」配布

7:45～ グラウンド・ゼロのつどい

8:15～ 追悼のダイ・イン

8:45～ 「原発再稼働阻止!安倍政権打倒!8・6広島デモ」(原爆ドーム前～中国電力本社)

9:30～10:30 中国電力本社前・脱原発座り込み行動

まとめ集会 《会場》広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階研修室ABC(広島市中区袋町6-36)

12:00～13:30 セッション7 反戦反核(無責任システム批判)運動の総括

13:30～14:00 「集会決議」採択

■団体協力金：1口5,000円 個人賛同金：1口1,000円(3口以上の人に3日間参加券配布)

■参加費：各セッション500円、講演1、2各1,000円

■主催者：「検証：被爆・敗戦70年一日米戦争責任と安倍談話を問う」実行委員会

■代表：田中利幸

■事務局：広島市西区天満町13-1-810 FAX 082-297-7145

電話 090-4740-4608 Eメール kunonaruaki@hotmail.com(久野成章)

■郵便振替：01320-6-7576「8・6つどい」

■銀行振込：ゆうちょ銀行「店番139 当座 店名一三九 口座番号0007576」